

11年前に遺愛で講演して下さった公文和子さんが『グッド・モーニング・トゥ・ユー』という本を出しました!!

「風に立つライオン基金」をご存知でしょうか？歌手の「さだまさし」さんが、2017年に立ち上げた公益財団法人で、海外8ヶ国で頑張る医療従事者や教育者に対する支援を行っています。また毎年起きる自然災害に際して、その都度の災害支援を行ったり、2020年からはコロナ禍に際して、福祉崩壊を防ぐために医師と看護師を福祉施設に派遣して勉強会を行うという活動を進めています。「さだまさし」さんは、こういう活動の全てが公文和子さんとの出会いから始まったと言っています。



2011年8月29日の講演の様子

公文和子さんは、北海道大学医学部出身の小児科医で、イギリスで熱帯小児医学を修めた後、2002年にアフリカのケニアに渡り、医療と教育に携わりました。その間の経験から「ケニアの障がいのある子どもたちと共に生きたい」という思いが募り、2014年頃に、障がいのある子どもたちとご家族のための「居場所」を作ろうと考え、「シロアムの園」ビジョンを持ちます。そのような時に「さだまさし」さんと出会いました。そして2015年1月に「シロアムの園」ができ、さださんらの支援を受けながら、障害のある子どもたちが必要とされる社会を目指して日々歩んでいます。



公文さんのこれまでの歩みと出会い、「シロアムの園」の様子、これからのビジョンを書いた本『グッド・モーニング・トゥ・ユー』が2021年7月1日に刊行講演後に遺愛生と語らう。されました。



先だって日本基督教会函館相生教会のご婦人の方々がぜひ読んで下さいとこの本を遺愛に寄贈して下さいました。2011年8月末に函館相生教会に公文さんが来られたときに、遺愛にも講演に来て下さり、720名の遺愛中学生・高校生に向けてキリスト教の信仰に基づいた熱いメッセージを語ってくれました。印象に残っている言葉は「人のために生きることにより、自分が本当にいかされるのです！」

『グッド・モーニング・トゥ・ユー』 でした。

2021年7月1日(木)